

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆうるごー		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ~ 2025年 11月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年 11月 18日 ~ 2025年 11月 29日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 25日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの事を十分に理解し、特性等に応じた専門性のある支援を行っている。	保護者から聴きとり、子どもの日々の様子を職員で共有し、共通理解に努めている。	個に応じた支援を行えるように、日々のふり返りを行い、また専門的研修を受ける事で知識を深めていく。
2	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫している。	社会情勢や季節にふれられるプログラムを子どもの年齢や特性に応じて取り入れ実践している。	多方面にわたり、アンテナを張り得た情報を子ども達にわかりやすくフィードバックしていく。
3	事業所の支援に満足していただいている。	保護者の方と密に連携をとっている。 子どもが興味もてるようなプログラムを取り入れている。	日々の活動の意図や目的を保護者の方にも伝えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	障害特性に応じた配慮がされている生活空間。	保護者の方が事業所内の様子やどのような配慮をしているのか、知る機会が少ない為	お便りや親睦会等を通して事業所内の様子を知らせていく。
2	保育所や認定医こども園、幼稚園等との交流やその他地域で他のこどもと活動する機会。	活動の中で地域の公園へ行ったり、外部のイベント参加したりするなどかかわりのあるものの、上手くお知らせができてなかった。	保護者の方に口頭で伝えたり、日々の日誌やお便りを使ってよりわかりやすく伝えていく。
3	家族支援や保護者同士の交流の機会を設けるなどの支援。また、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援。	保護者の会は年6回設けており、お便りで案内をだしているが、上手くお知らせできていなかった。きょうだい事は気にかけていたが交流の場は設けられていなかった	保護者の会の開催日時を再考し、継続して参加していただける様、個々にも声をかけていく。 保護者のニーズを聞き必要に応じて、きょうだい同士の交流できる機会が設けられるか考えていく。